



嚶鳴フォーラム in 東海 市町長サミット宣言 (2011年11月26日)

本年3月11日の東日本大震災は、私たちに様々な教訓を残しました。

そこで、本年度の「嚶鳴フォーラム in 東海」では、「～釜石からのメッセージ～いのちを守る生き方・考え方を学ぶ」をテーマに、これからの地域づくりのあり方を話し合いました。

甚大な津波被害の中で、釜石市の学校に登校していた児童・生徒全員が無事避難できたという事実からは、子どもたちが日ごろから防災に関する知識を身につけ、実践訓練で避難行動を覚え、実践することの大切さを学びました。そして、自分の役割を認識しながら近隣の人たちと一緒に避難した行動力の源泉が、地域の風土・歴史・文化に根付いた防災教育にあることを学びました。

また、離れた自治体間の日常の交流が、災害発生時の支援に大きな役割を果たすこと、すなわち、遠き地にあっても、平時より互いに思いやりを持って交流していると、いざという時に迅速かつ適切に助け合えることも確認しました。

私たちは、本フォーラムで学び、話し合ったことを、それぞれの地域づくりや防災対策に活かすとともに、嚶鳴協議会としての広域連携ネットワークを強化し、平時における交流・連携をより促進し、災害時には各自治体の実情に合わせた形での相互支援を行なうことをここに宣言します。

平成23年11月26日
